

目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾 哲 男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石 井 進

まえがき

凡 例

第一章 弥生時代

第一節 弥生時代のあらまし…………… 3

一 弥生文化の成立…………… 3

縄文文化から弥生文化へ 稲の来た道 弥生文化の広がり

二 長野県の弥生文化…………… 4

長野県各地の弥生文化 中島式土器文化と箱清水式土器文化 上田市域の弥生文化

三 弥生人のくらしと祈り…………… 8

ムラのくらしと道具 米づくりの道具 生活の道具 祀りと祈り

第二節 上田地方の弥生時代のくらし……………11

一 くらしの舞台……………11

弥生文化の波及 集落の立地 上田地方の弥生集落 集落の様子 戦いの集落 水田と畑

二 住まい……………18

竪穴住居 平地住居 掘立柱建物

三 祭祀と葬送……………24

弥生時代の祭祀 弥生時代の葬送 再葬墓・土偶形容器 土壙墓 土器棺墓 木棺墓 周溝墓

第三節 上田地方の弥生時代の文化……………34

一 土器と土製品……………34

弥生土器 上田地方の初期弥生土器 箱清水式土器 土器の種類と用途 貯蔵用の土器

調理用の土器 盛りつけ用の土器 赤い土器の文化 長野と佐久のはざままで 土製品

二 石器と石製品……………44

弥生時代の石器 生産のための石器 生活のための石器 武器や祭器の石器

三 銅器と鉄器……………49

金属製器具 青銅器 鉄器

四 有機質遺物……………52

有機質遺物 木製品 骨角製品 繊維製品

第四節 上田地方の弥生時代の遺跡……………56

神川流域の遺跡 茅御堂遺跡 千曲川流域の遺跡 下町田遺跡 宮原遺跡(上田市秋和)

上田原遺跡 産川流域の遺跡 宮原遺跡(上田市前山) 浦田遺跡 駕籠田遺跡

浦野川流域の遺跡 琵琶塚遺跡 大道下遺跡 藤之木遺跡 岳の鼻遺跡

第五節 クニ発生期の上田地方

一 支配者の誕生

ムラの有力者 クニの発生期 クニの有力者

二 千曲川流域のクニ

時代の転換 周溝墓と古墳 高地性の集落 竪穴住居の変化 外来系の土器 残った石器
金属器の出土 変動期の背景

第二章 古墳時代

第一節 古墳時代のあらまし

一 古墳文化の成立

古墳時代の始まり 古墳の出現と移り変わり 古墳の形 古墳時代の時期区分 古墳時代前期
古墳時代中期 古墳時代後期

二 長野県の古墳文化

各地の古墳 集落遺跡

三 古墳時代の人々の暮らし

庶民の住居と豪族の居館 人々の暮らし 暮らしの道具

第二節 上田地方古墳時代の暮らし

一 生業とくらしの道具

生業の種類	稲作と畑作	農具の発達	様々な木製品	金属器と製鉄	玉作りと古墳社会
須恵器の生産	馬と牧の経営	富本銭と信濃			
二 ムラのくらし	ムラの生活	建物の種類	住居のしくみ	かまどの普及	倉庫のしくみ
	布と衣服	残った布きれ	古墳時代のムラ	ムラの景観	家族とくらし
三 豪族の居館	豪族の居館	居館の構造	長野県の居館		
四 祭祀と葬送	祭祀の種類	家の祀り	ムラの祀り	居館の祀り	水辺の祀り
	祀りの道具	仏教の広がり	礫床墓の発見	曝葬所	二つの祀り
					峠の祀り
第三節 上田地方古墳時代の文化					
一 上田地方の古墳					
(1) 上田地方の古墳の時期					
上田地方の古墳の時期					
(2) 神川流域の古墳					
赤坂將軍塚古墳	塚穴古墳	氷沢古墳群	下郷古墳群	下青木吉田原古墳	
(3) 上田平地域の古墳					
新屋古墳群	矢花古墳群	塚田塚(カンカン塚)古墳	陣場塚古墳	二子塚古墳	
秋和八幡大蔵京古墳	風呂川古墳				
(4) 塩田平地域の古墳					
下之郷古墳群	他田塚古墳	塚穴原一号墳	下之郷古墳群のその他の古墳	王子塚古墳	皇子塚古墳
(5) 浦野川流域の古墳					

	浦野塚古墳	神宮寺古墳	和合將軍塚古墳
(6)	千曲川南岸の古墳	清水下古墳	舟窪古墳群
			タタラ塚古墳
			千曲川南岸のその他の古墳
	土器		
(1)	土師器・須恵器の時期区分		
	土器の斎一化が進む	須恵器の登場	土師器の時期区分
(2)	各期の土器		須恵器の時期区分
	弥生時代との境目の土器	前期の土器	中期の土器
			後期の土器
三	金属製品		
(1)	武器		
	剣	太刀	鉄鏃
			他田塚古墳出土の鉄鏃
(2)	武器		陣場塚古墳出土の鉄鏃
	よろいかぶと		
(3)	馬具		
	馬具	鞍	轡
			鎧
		杏葉	雲珠
			その他の馬具
(4)	農耕具		
	鍬・鋤・鎌		
(5)	工具		
	鉄斧	その他の工具	
(6)	日常生活用の利器		
	刀子		
(7)	装身具		
	耳環		

四	石製品……………	180
(1)	装身具……………	180
	勾玉 管玉 切子玉 ガラス小玉 丸玉 そのほかの玉	
(2)	紡織具……………	183
	紡錘車	
(3)	石製模造品……………	183
	石製剣形模造品 石製有孔円盤	
五	土製品……………	184
	埴輪 八幡山遺跡出土埴輪 土製模造鏡	
六	古墳の設計……………	186
	尺度と白い土の線	
第四節	国家形成期と上田地方……………	188
一	クニの段階……………	188
	階級の誕生 クニの誕生 墳丘墓の出現	
二	初期大和政権の誕生……………	190
	纏向遺跡と纏向古墳群 長野県の前期古墳の時期	
三	方墳から前方後円墳へ……………	191
	古墳の階層 方墳 方墳から帆立貝式古墳へ 前方後円墳の築造	
四	首長の変質……………	192
	国県制 首長権の移動 大和政権の支配機構の中に 上田地方の首長権	
五	国造の誕生……………	194

科野国造

科野国造の本拠地

科野国造の子孫

執筆分担

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

第一章 弥生時代

表紙写真 他田塚古墳 石室内部から
裏表紙写真 上田市下室賀 岳の鼻遺跡A地区航空写真